

## 無形文化遺産とは？

無形文化遺産は私たちの生活の中の生きていく様々な伝統や表現で、口承による伝統や表現、伝統芸能、社会的習慣や祭礼行事、伝統工芸技術、自然と万物に関する知識や慣習を含みます。世代を越えて受け継がれ、時代とともに変化しつつも、無形文化遺産は人々のアイデンティティの拠りどころとなり、文化多様性の確保に重要な役割を果たし、社会の持続性やレジリエンスにも貢献しています。

グローバル化やそれに伴う社会経済的な変化により、多くの無形文化遺産が消滅の危機に瀕している現在、無形文化遺産を保護し、その豊かさを次世代に継承することが重要です。

## IRCIについて

IRCIは2011年に日本政府とユネスコとの間の協定により、ユネスコのカテゴリー2センターとして設立された組織で、国立文化財機構の一組織です。

アジア太平洋地域において

- (1) 「無形文化遺産の保護に関する条約（2003年条約）」を促進し、
- (2) 無形文化遺産保護の手法としての調査研究を推進することで、  
無形文化遺産保護の推進に努めています。

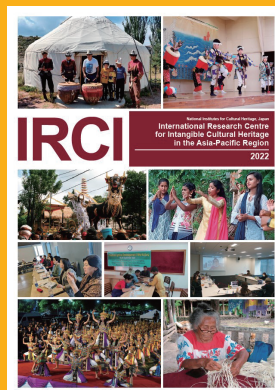


10年以上にわたり、IRCIは大学、研究機関、政府及び非政府組織、博物館、地域コミュニティなどと連携しながら、様々な調査研究事業を実施しています。

## IRCIウェブサイトをご覧ください

<https://www.irci.jp/jp>

研究事業や最新の活動、イベント情報など、詳しい情報を掲載しています。事業報告書や国際会議プロシーディングスなど、主要な出版物もダウンロードできます。ぜひご利用ください。



## Facebookでフォローする

<https://www.facebook.com/IRCI.Official>



## 連絡先

独立行政法人国立文化財機構

アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI)

〒590-0802

大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 堺市博物館内

電話：072-275-8050

FAX：072-275-8151

E-mail：irci@nich.go.jp



# IRCI

International Research Centre for  
Intangible Cultural Heritage in the  
Asia-Pacific Region

アジア太平洋無形文化遺産研究センター



Centre  
Under the auspices  
of UNESCO



International Research Centre  
for Intangible Cultural Heritage  
in the Asia-Pacific Region

アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に貢献するため、以下の重点領域のもとで研究事業を実施しています。

## 無形文化遺産保護のための研究の促進

研究は無形文化遺産保護の促進に重要な役割を果たします。ワークショップや国際会議、シンポジウムなど様々な交流機会を提供することで、アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のための研究の促進と、研究者ネットワークの強化に努めています。

## 持続的でレジリエントな社会構築のための無形文化遺産

災害や気候変動、SDGs など、相互に関連する現在の国際的課題について、無形文化遺産の観点から実践的な事例研究を行っています。この重点領域のもとで実施する研究事業を通じて、社会の持続性やレジリエンスに貢献する無形文化遺産の側面を提示していきます。

## 無形文化遺産に関する研究情報収集

無形文化遺産とその保護に関する研究情報は、保護の現状や課題を把握する上で不可欠です。2013 年度以来アジア太平洋地域を対象として研究情報を収集し、IRCI 研究データベース上で公開しています。現地機関と連携して情報を収集する一方、対象地域や国でワークショップを開催し、研究の現状や課題について議論しています。2022 年度からは、中央アジアと小島嶼開発途上国 (SIDS) で情報収集を実施しています。

### IRCI研究データベース

無形文化遺産保護と研究に関する文献、専門家、関連機関等の情報を提供しています。アジア太平洋地域の様々な言語による文献情報も、英語要旨をつけて数多く収録しています。

URL: <https://www.irci.jp/ichdb/> (英語のみ)



## SDGsへの貢献

### —持続可能なまちづくりと無形文化遺産

持続可能な開発目標 (SDGs) のターゲット 11.4 は、文化遺産や自然遺産の保護の強化が持続可能なコミュニティやまちづくりにつながるとしています。ここでいう文化遺産は有形の遺産と捉えられがちです。そこで、アジア太平洋各地の NGO・研究機関と連携して、世界遺産を含めた歴史的・文化的景観の形成や維持に無形文化遺産が果たす役割について事例研究を行います。有形・無形の文化遺産の統合的保護についても議論します。

11 住み続けられるまちづくりを



## アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のための研究フォーラム

アジア太平洋地域における無形文化遺産研究の拠点としての IRCI の役割を強め、研究活動と国際協働を活性化するため、2022 年度に新たに立ちあげたプラットフォームです。アジア太平洋地域で活躍する研究者で構成する企画委員会と協力し、無形文化遺産研究の様々な課題や最新動向を扱うオンラインセミナーや国際会議、若手研究者向けプログラム等を実施します。

Facebook グループ：  
<https://www.facebook.com/groups/asiapacificresearchforum>



## 無形文化遺産と災害

アジア太平洋地域では様々な自然災害が多発しており、無形文化遺産の災害リスクマネジメントへの関心が高まっています。そこでインドネシア・日本・バヌアツ・バングラデシュ・フィジー・フィリピン・ベトナム・モンゴルの研究者らと連携し、無形文化遺産を災害から保護し、無形文化遺産を地域の防災に活用するにはどうすればよいか、各国の地域コミュニティで実践的研究を行っています。



## 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症は、無形文化遺産の実践に深刻な影響を及ぼしています。具体的な影響の実態や、この危機から無形文化遺産を保護するための対策を把握する必要があります。コロナ禍における無形文化遺産の実践や継承、保護の現状について、アジア太平洋地域の 9 か国を対象として事例調査を実施します。パンデミックの影響とともに、無形文化遺産のレジリエンスを明らかにすることが期待されます。

